

様式第2号

視察研修先	東京都町田市	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	議会改革（活性化）の取り組みについて		
<p>感想・所見など</p> <p>概 要</p> <p>人口:430,831人（令和5年1月1日現在） 面積:71.55km² 議員数:36名 昭和33年に町田町・鶴川村・忠生村・堺村が合併。</p> <p>感 想</p> <p>① 公共施設内において議会等の傍聴人受付簿を廃止され、また、親子傍聴室を設置するなど、気配りが大変参考になりました。</p> <p>② 全員協議会、議案説明会を公開で実施していることは、施策等を速やかに広報することで市民目線を注視していることが伺われました。</p> <p>③ 議会において手話通訳者、要約筆記者の派遣を予算計上し、一日2人を実施していることは、開かれた議会と感じとれました。</p> <p>④ 議会改革調査特別委員会においてこれまでに、調査・検討実施されている事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政の情報提供 ・ 調査活動に関する事項 ・ 議会の権能強化 ・ 市民と議会との関わり ・ 議員定数 40名から36名 ・ 政務活動費 ・ 議会の情報提供に関すること ・ 議会のインターネット中継は、常任委員会や特別委員会でも実施されており、本市においては、議場は中継されておりますが、常任委員会や特別委員会は、会議室の不都合により中継はされておられません。 ・ 重要な計画策定の報告について 市長から議長へ、その後①代表者会議②常任委員会③全員協議会等のうちいずれかへの報告、若しくは全議員への④報告文書の配布を求めます。 1回目／方針の説明、2回目／計画案の説明、3回目／最終案の作成、4回目／計画の説明その後には計画の公表となっていることを学び、参考になりました。 ・ 条例制定の報告 1回目／方針の説明、2回目／素案の説明、3回目／議案の提出 <p>考察</p> <p>執行部からの報告のプロセスがしっかりとしており解りやすく、参考になりました。議会条例がないにもかかわらず、しっかり取り組んでいることに感銘した。</p>			

様式第2号

視察研修先	東京都東村山市	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	議会改革（活性化）の取り組み 政策研究会について		
<p>感想・所見など</p> <p>概 要</p> <p>人口: 151,814人 面積: 17.14km² 議員数: 25名 うち女性10名</p> <p>野口・回田（めぐりた）・久米川・大岱（おんた）、南秋津の5村が合併。</p> <p>感 想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東村山市議会の議会構成員は女性が40パーセントを占めている市議会であり、全国でも少ない国際的感覚の市議会であります。 ・議会基本条例の検証作業を2年毎に議会運営委員会が実施していることから、常に襟を正している様子が参考になりました。 ・姉妹都市との交流も4年に一回実施しているとのことでありました。 ・生活文教委員会では、農業者と商工業者の顔の見える関係をつくり、ブランド化に向けた取り組みを展開しており、市民の立場からの行動が参考になりました。 ・政策総務委員会では、投票率向上のため教育委員会との意見交換会を実施し、親子投票や家庭教育から投票へ促して頂くよう促進を図っている。 <p>また、選挙管理委員会への働きかけを実施し、「投票済証」発行するまでに至っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインアンケート調査を実施しており、年代も10代から80年代までの幅広い年齢層に驚きました。政治・議会に対する関心度が高いことは素晴らしいことであります。 <p>考 察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策研究会では、会派・委員会を超えて課題について同意される議員が集まったメンバーとなっており、議長が五分の一程度の構成員であれば許可をし所管に連絡をして研究会活動を行っている。 <p>「いじめで泣く子をださないために」と「ごみ処理問題」について取り組んでおりました。市民の声を反映していくには大切なものと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市においては、投票率低下と議員のなり手不足が問題となっている。 <p>一般企業や公務員と同様の福利厚生等の重要性や様々なリスクを考慮した検討が必要であるといえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が活躍できる議会の仕組みづくりや議会基本条例の検討の必要性。 			